

「三重県高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業」を実施します  
 ～高齢者をはじめとする県民の皆さんの移動手段確保を推進～

令和2年6月17日	
連絡先	
地域連携部	
交通政策課	
担当者	中根・宮本・藤野
電話	059-224-2622
ファックス	059-224-2418
e-mail	kotsu@pref.mie.lg.jp

三重県では、交通分野と福祉分野等との連携や次世代モビリティ等の活用による先駆的な移動手段の確保に向け、「三重県高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業」を実施します。

## 1 モデル事業の内容

市町に対し募集を行い、4事業を県内各市町の牽引役となる先駆的な取組を行うモデル事業として選定しました（詳細は別添のとおり）。

### （1）「郊外型団地等都市部」での取組

**ア 桑名市次世代モビリティ推進事業**（実施主体：桑名市）〔次世代モビリティ等活用〕  
 持続可能な公共交通ネットワークの維持のため、自動運転バスを既存バス路線の一部で実証運行し、本格導入の可能性や課題について検証。

### （2）「交通不便地域」での取組

**ア AI配車システムを活用した「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」実証運行事業**（実施主体：亀山市）〔次世代モビリティ等活用〕

市内全域を運行しているデマンド乗合タクシーにAI配車システムを導入し、配車効率、当日予約の対応化など利用者の利便性を向上。

**イ 寝屋子の島 答志島高齢者等移動手段確保事業**（実施主体：鳥羽市）〔福祉分野等との連携〕

地元町内会と連携し、市の公用車による移送を行い、島内の移動手段を持たない高齢者等の通院を中心とした移動需要に対応。

**ウ 紀北町新交通システム実証事業**（実施主体：紀北町）〔次世代モビリティ等活用、福祉分野等との連携〕

町内全域を運行している、町の公用車によるデマンドタクシーにAI配車システムを導入し、配車効率を向上。将来的にMaaSの導入につなげることを視野に入れる。

## 2 参考 「三重県高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業」とは

自動車運転免許の自主返納件数の増加や高齢化・人口減少に伴い、返納後の日常生活の移動手段の確保や、公共交通の確保が困難となっている交通不便地域等における高齢者をはじめとする県民の皆さんの移動手段を確保していくことが深刻な課題となっています。

「三重県高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業」は、これらの課題解決をめざして、移動手段確保のために交通分野と福祉分野等の連携や次世代モビリティ等の活用に向け、モデル事業を展開する市町に対する支援（県補助金）を実施するものです。

# 別添1 高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業について

高齢者をはじめとする県民や来訪者の移動手段確保のために、次世代モビリティ等を活用した取組や、交通分野と福祉分野等が連携した取組を、県モデル事業として市町、交通事業者等と連携して進めます。

## 移動に関する主な課題

### 1. 郊外型団地など都市部

運転士不足による路線バスの減便・維持が懸念される

駅やバス停までのラストワンマイルの移動手段がない

### 2. 交通不便地域

利用できる公共交通(鉄道・バス・タクシー)がない

駅やバス停まで遠い、歩けない

## 課題を解決するための取組をモデル事業として支援

### ○次世代モビリティ等を活用した取組

例：自動運転バス実証運行、AI配車システムを活用したデマンド交通実証運行、グリーンスローモビリティによるラストワンマイル実証運行 など

### ○交通分野と福祉分野等が連携した取組

例：介護保険訪問型サービスDを活用した住民輸送、デイサービス送迎車を活用した住民輸送、福祉タクシー事業者と連携した取組 など

### 【主な補助対象経費】

実証実験車両の運行費用、AI配車システム導入・運行費用など  
(県補助金：予算の範囲内で補助対象経費の1/2補助 ※1団体上限300万円)

高齢者をはじめとする県民や来訪者の移動手段確保

モデル事業の成果や課題は県内各地域に横展開

# 別添2 「三重県高齢者等の移動手段の確保等に向けた地域モデル事業」の各取組

県内4市町の先駆的な取組を令和2年度における地域モデル事業として選定しました！

## 桑名市次世代モビリティ推進事業(桑名市) [次世代モビリティ等活用]

### <現状・課題>

大山田地域は、高齢化や今後のバスの運転士不足などの課題を抱え、生活路線の維持が必要である状況。

### <取組内容>

・同地域において、特に維持確保が必要な既存バス路線の一部を自動運転バスの実証実験における走行ルートとし、現在バスを運転している運転手等による実証実験を行うことで、現在のバス運行の将来的な代替手段としての自動運転バスの可能性や導入に当たっての課題について検証。

・実証実験を通して、地域における自動運転バスの受容性やニーズについても把握。

・実証実験時期：令和2年9月(予定)

### <ポイント>

・高齢化等への対応として、自動運転バス導入に向けた実証実験の実施。



## 渡屋子の島 答志島高齢者等移動手段確保事業(鳥羽市) [福祉分野等との連携]

### <現状・課題>

・答志島では、人口減少や後継者不足により閉店する店が多くなる一方で、高齢化により自家用車を運転できる住民が少なくなり、また公共交通機関もない状況。

・答志和具地区の民間医療機関が令和2年3月末で閉院となったことにより、移動手段を持たない高齢者が島内唯一の桃取地区の診療所に通院することが必要な状況。

### <取組内容>

・地元町内会(予定)が市の公用車による移送を行い、島内の移動手段を持たない住民の通院など移動需要に対応。

・実証実験期間：令和2年7月～令和3年2月(予定)

### <ポイント>

・市の健康福祉分野が町内会(予定)と連携し、公用車による移送を行い、高齢者の島内唯一の桃取診療所への通院などの移動需要に対応。

## 紀北町新交通システム実証事業(紀北町) [次世代モビリティ等活用、福祉分野等との連携]

### <現状・課題>

町内にタクシー事業者がないため、町が運行主体となり、公用車(軽自動車)を使用してドアツードアのデマンド運送(町内全域)を実施している状況。

### <取組内容>

・現状に加え、AI配車システムを導入することにより、効率的な運行の実現と将来的な運行数の増加に対応。

・観光客等が利用しやすいようMaas等の導入も視野に入れた実証実験を行う。

・運行管理・安全管理について三重交通㈱に委託し、運転手の一部は町内の介護タクシー事業者から派遣。

・実証実験期間：令和2年6月～令和3年2月(予定)

### <ポイント>

・町内の介護タクシー事業者を活用(運転手を派遣)。

・観光客等が利用しやすいよう、将来的なMaas等の導入も視野に入れた実証実験。



## AI配車システムを活用した「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」実証運行事業(亀山市) [次世代モビリティ等活用]

### <現状・課題>

市内全域において、デマンド型乗合タクシーを運行しており、現在は、事前登録した利用者が、前日までにタクシー事業者へ電話で予約している状況。

### <取組内容>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車を行うことにより、利用者から根強い要望のある当日の予約に柔軟に対応し、利用者の利便性を大幅に向上させるとともに、効率的なタクシー車両の運行を図る。

・実証実験期間：令和2年9月～10月(予定)

### <ポイント>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車により、当日の予約への柔軟な対応を実現。